

第 1 回桐生市総合戦略推進委員会ワーキンググループ 委員意見要旨

ワーキンググループの運営に関する意見

- 堅苦しい会議ではなく、円卓を囲むような、ざっくばらんに意見を言いやすい会議になるといい。
- 良い意見が出たのに通らなくて結局無意味だったというようなことにはせず、このワーキンググループが一つのチームとして、意見を通すという熱度を持っていただきたい。
- 本ワーキンググループのように、各委員会に若い年代をどんどん入れて、他にもワーキンググループのような機会を作れるといい。

1 しごとに関する意見

- 女性が子育てしながら仕事も続けられるような桐生らしい取組があるといい。
- 商店街の空き店舗等を活用し、低リスクで気軽に出店できるチャレンジショップのような、起業ができる所があるといい。
- 桐生市内で女性の雇用に力を入れている企業を集めて女性向けの合同企業説明会を開催する
といい。
- 例えば商店街の空き物件の固定資産税を減免するなど、お店が入るように活用を促進すると
桐生が潤うと思う。
- 起業支援について、インキュベーションオフィスもあるが、例えば新桐生駅にある平和ビル
をワーキングスペースとして無料で利用できるようにするなど、拠点を作ることが重要。
- 桐生市は伊勢崎市や太田市のように広い土地があるわけではないので、山間部でもできるよ
うな、自然環境を生かせる企業を選んで企業誘致することも大切。
- 精神疾患や病気で一度離職した後に職場復帰することに不安を感じている女性が多いので、
職場のアルコール消毒とか整理整頓のよう易しい仕事から始めて、少しずつ書類作成などの
業務に移行していくような、リハビリのような就労支援事業があるといい。そのような女性
を含めて弱者に優しく、居場所があって活躍できるまちづくりができると、自死などの自然
減も減っていくと思う。

2 住宅に関する意見

- きりゅう暮らし応援事業（住宅取得応援助成）の夫婦加算について、もう一段階追加し、若
い世代の夫婦に対して加算を増やすとともに、家を新築すると、税制上、固定資産税が 3 年
間 2 分の 1 になるが、若い世代の夫婦には更に上乗せで税制優遇をするといい。
- 人口が増えていく期待が持てる地域に対して今まで以上の住環境の整備・投資をするといい。
- 旧市街地に生活の核となるような場がないので、官民連携で住環境の整備を行うことが必要。

3 情報発信に関する意見

- 桐生市に興味を持った人がインターネットで桐生市を検索した時に、子育て、医療、福祉、住環境など、桐生市での暮らしがイメージしやすいような情報発信サイトがあるといい。
- 若い世代が一旦桐生市から出たとしても、桐生市の魅力に気付いて戻ってきてもらえるよう、桐生市の魅力を噛み砕いた情報としてアプローチするような施策がいい。

4 教育に関する意見

- 子育て世代が移住するに当たって、教育の質の高さが大事であり、エリートを養成するような教育ということではなく、地元の人や企業など周りの環境を巻き込んだ、子どもがのびのびと個性を伸ばせるような、特色のある学校運営があつていい。
- 先日開催されたミニきりゅうのように、子ども達を巻き込み、桐生市の魅力を知ってもらうだけではなく、どうやったら桐生市が良くなるのかを彼らに考えてもらい、意見を出してもらうことが重要。
- 教育はとても強く、教育のために移住する人は多いので、特に小・中学校の義務教育に特色を出して教育の競争力を高めていくと社会増につながる。その中で、多様な選択肢があつて、ドロップアウトを出さないとか、その教育の中にいなければいけないという強迫概念が和らぐと、子どもがのびのびとできて魅力が高まると思う。

5 公共施設に関する意見

- 人口減少が避けられない中、いかに公共施設を畳んで魅力的に見せていくかということが大事。例えば公共施設に企業を誘致して人が集まって稼げる施設にしておくことや、また学校についても早く統廃合を進め、クラスメイトが沢山いるという環境を作ってあげることが若い世代にとってはいいのではないか。
- 既存の建物をリノベーションすることも大切であり、その際の申請のハードルを低くする、または後押しするような制度ができるとよい。
- 例えば公共用地を民間に貸し出しすればお金が入ってくるのに、そのようなお金を生み出すような事業を桐生市はあまりやっていない。他の委員会で議論しているとは思いますが検討のスピードが遅く、その間にも人口は減っていくので、そこをどうしていくべきか話し合っていかなければいけない。

6 観光に関する意見

- 桐生市はイベントが多いが散発しており、他地域の人ほどの日に行けばよいか分からないということもあると思うので、特定の日を設けて一つのイベントに集中した方がよいと思う。
- 桐生市の観光は、市民が中心となって色々なイベントをやっているが、桐生市がそのハブとなるべきだと思う。観光のことを考えて動いている人は沢山いるので、その人達の意見を取り入れて動くことができれば、桐生市全体の観光の発展につながり、お金を動かすことができる。

7 子育て支援に関する意見

○桐生市で子どもを産むということも大事だが、子どもがいる人を呼ぶことも大切であり、例えばシングルマザーを大切にするまちということでシングルマザーを呼び込み、そこで桐生市の独身の男性と結婚して子どもを産んでもらうということも即効性のある施策だと思う。

8 その他の意見

○特に女性の減少が目立っているとのことだが、女性と区切ってしまうと今の時代に合っていない。同性のカップルなどどのような人でも桐生市に興味を持って移住したいと思ってもらえるような施策を考えることが大事なのではないか。

○無理に桐生市に人を留めようとするのではなく、敢えて一旦外へ出ることも大事。その際、市内で過ごした時に、地元の方でも移住者の方でも、このまちを面白い大人と話したり一緒に活動したりする経験があると、ずっと心に残り続けるので、地元に関わったり、Uターンするきっかけになる。

○一回桐生に来たら桐生を好きになってくれる人が多いので、関係人口を増やしていくことが大切。

○色々な世代の人達に会議の情報を発信して参加してもらうなど、市民を巻き込むことが大事。

○市の職員が桐生市を楽しみ、語れるような場を作ってアピールしていただきたい。